

開所式で、抱負を述べる鴻巣さん＝
名古屋市中区の県自治センターで



学生と考える企業課題

「サステイナ研究所」名古屋で開所

企業が抱える環境面での課題に対し、学生が一緒になって解決方法を考えるプロジェクト「かがやけ☆あいちサステイナ研究所」の開所式が六月二十五日、名古屋市中区の県自治センターであった。

参加する学生を代表し、愛知淑徳大交流文化学部三年の鴻巣真里華さんがあいさつ。「大学や学年、経験も異なるメンバーが集まった」と切り出し「それぞれの個性を生かして取り組み、私たちならではの発想で魅力ある解決策を提案できるよう頑張りたい」と抱

負を述べた。また、参加企業の担当者からも「企業の人が思い付かない、学生ならではの発想を」と期待する声が聞かれた。

第九期の今年は学生四十人と、信用金庫からスポーツ用品メーカーまでの八企業が参加。学生らはハグループに分かれた後、各企業の課題を解決すべく、「研究員」として現場調査などを重ねる。この日は早速、各社から「フードロス削減に向け子どもと取り組めるプログラムの提案」などの課題が出された。

(高田みのり)

2023年7月2日(日) 中日新聞 朝刊より
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。